



# ワークショップ ファシリテーター 養成講座 受講者募集 「まちに聞く、考える」

後期

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT では、2014 年度より長期的な視点を持ち人材育成事業を開始いたしました。  
演劇・ダンス・音楽などの舞台芸術や美術などのアートが持つ力や、アーティストの力を様々な場面で活用して、地域の人々をつなぎ、より豊かな市民社会を構築するための拠点となることは、劇場の重要な役割です。  
それを実現するための有効なツールに、ワークショップがあります。ワークショップといっても様々な分野のものがありますが、プラットでは演劇ワークショップを中心に実施しています。地域にはどの様な人が居て、どの様な課題が存在し、その為にどの様に演劇ワークショップを活用したらよいかを考え、それを実践できる人材が不可欠です。ワークショップを進行する人材、ファシリテーター(進行役)と言われますが、そうした人材を長期的・継続的な視点で地域に育成することを目指しています。

- ◆期間 2016年11月23日ー2017年2月18日《全11回》
- ◆会場 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT
- ◆講師 柏木 陽 (かしわざい・あきら)

演劇百貨店代表・演劇家  
93年から劇作家・演出家の故・如月小春に師事。03年、特定非営利活動法人演劇百貨店を設立。他セクターとの協働事業を企画する一方で、現在もワークショップの進行役として、全国各地の劇場・児童館・美術館・学校で、子どもたちと独自の演劇空間を作り出している。最近の仕事に、兵庫県立こどもの館「こどもの館劇団創作移動劇」、川崎市立多摩市民館「ちっちゃい演劇フェスティバル」フェスティバルディレクターなど。青山学院女子短期大学、和光大学で非常勤講師を務める。

## すぎき ことた

演劇デザインギルド理事・ワークショップファシリテーター・俳優  
演劇的手法を様々な場面に取り入れたワークショップを数多く進行。多文化共生やまちづくりの場でのワークショップも多いが、小中高での演劇を取り入れた授業も多く、先駆的な手法は高い評価を受けている。また、演劇を使って討論するフォーラムシアターも数多く実施。日本だけでなく、メキシコ(高校生)、インドネシア(紛争被害にあった子どもたち)など、活躍の場は多岐に渡る。神奈川県立大師高校・東京造形大学非常勤講師。

## 吉野 さつき

愛知大学文学部メディア芸術専攻准教授・ワークショップコーディネーター  
シティ大学大学院(英国)芸術政策経営学部修士課程修了後、公共ホールの文化事業担当を経て、平成13年度文化庁派遣芸術家在外研修員として、英国で演劇のアウトリーチやエデュケーションプログラムの研修と調査を実施。教育、福祉、ビジネスなどの現場でさまざまなジャンルのアーティストによるワークショップをコーディネートする他、各地の公共ホールや大学などで、アウトリーチ事業やワークショップの企画運営を担う人材育成プログラムにも数多く携わる。文化経済学会(日本)会員。

好評  
受付中

応募  
締切 2017年11月9日(水)17時必着

お問合せ 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT  
〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地  
TEL: 0532-39-8810 <http://toyohashi-at.jp>



主催：公益財団法人豊橋文化振興財団 平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業